



常陸大宮市長
鈴木 定幸

新年おめでとうございます。皆様におかれましては、令和5年の輝かしい新春をご家族おそろいで、健やかに迎えの心からお慶び申し上げますとともに、旧年中の温かいご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。

振り返りますと本市において令和4年は、新総合計画のスタートの年であると同時に、私が一貫して掲げる「人口流出を防ぐダム」を構築するための政策プロジェクトがスタートした年でもありました。

令和5年におきましても、市の最重要課題であります「人口減少・少子化対策」に重点を置いた政策を展開するとともに、「常陸大宮市重点政策」として設定した三つの柱を積極的に推進していく所存であります。

特に、一つ目の柱となる「若者・女性が住みやすく、子育てしやすいまちの実現」では、私の政策の一丁目一番地と位置付けております「常陸大宮駅周辺整備事業」が、目に見える形で工事に着手するほか、子育ての相談、支援が必要な家庭や発達の気になる子供に対し、社会において自立できるまで切れ目ない支援を行っていくことを目的とした「こどもセンター」を昨年新たに設置いたしました。今年はその本格運用を開始するとともに、ノウハウや知見の蓄積に努めていきます。また、本市では、体外受精及び顕微授精などによる不妊治療を行なった夫婦に対し、茨城県内で唯一の全額助成を行っており、それを機に、令和3年度から9組の夫婦が本市へ転入されました。本年も引き続き、不妊治療を受ける夫婦の経済的負担の軽減を図っていきます。さらに本年は、新たに「子育て世帯向け住宅」の整備も手がけ、若者や女性、さらには子育て世帯が居住しやすくなる、ストレスフリーでお洒落なコンパクトシティの形成を目指していきます。

二つ目の柱となる「学力向上にコミットする教育の推進」につきましては、現在導入しているAI型学習支援ドリルソフトの活用を継続するとともに、児童生徒の学習進度に合わせて学べる環境と、塾などへ通うことの困難な地域・環境の教育格差を解消するため、昨年導入したICT端末を利用した講義動画を活用するなど「確かな学力」育成プロジェクト事業を推進していくほか、市内小中学校の校舎及び体育館の照明をLED化し、子供たちの学習環境を改善するなど、今後とも結果に拘る公教育の実現に向けて努力していきます。

そして、三つ目の柱となる「観光を軸とした地域振興」につきましては、昨年より運用開始した御前山ダムの湖面利用を促進するとともに、市内の既存施設であるパークアルカディアを民間事業者と連携しながらリニューアルすることにより魅力を高めるなど、新たな観光施設の開発を進め、新しいアウトドアアクティビティの場を提供していきます。さらに、本年3月に全面人工芝化が終了する大宮運動公園市民球場では、来年度中に県内で二番目となるフルスクリーン付き人工芝の市民球場が完成することから、野球に止まらず、グラウンドゴルフやフットサルなど、多面的な利用を図ってまいります。

この他にも、子供の食の安全を担保するべくオーガニック学校給食実現に向けた有機農業の推進をはじめ、本市の課題を的確に精査し、常陸大宮らしさを大事にしながら、市民生活の向上と誰もが安心して住み続けたいと思える常陸大宮市の実現に向けて邁進してまいりますので、市民の皆様方をはじめ、関係機関・団体の皆様方には、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年の挨拶



常陸大宮市議会議長
武石 寿長

新年あけましておめでとうございます。皆様には、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は、市議会に対しまして多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、冬季北京オリンピックでの日本選手団の躍進によりメダル獲得数が過去最多となったことや、サッカーワールドカップで日本代表チームが強豪国を破り、世界に日本サッカーの進化を示すなど、スポーツ界では明るい話題が多くありました。反面、2月には、ロシアによるウクライナ侵攻という世界を震撼させるニュースが飛び込んできました。その影響は、原油や原材料価格の高騰を招き、私たちの家計や企業経営等を大きく圧迫するなど、多方面に及んでおります。

また、新型コロナウイルス感染症につきましては、拡大と収束を繰り返し長期化する中、ウイルスと共存する社会へと変わりつつあります。まだまだ出口の見えない状況にありますが、今まで止まっていたものを前進させ地域の生活と経済を回していかなければなりません。

本市では、昨年3月に新たに策定した常陸大宮市総合計画（ひたちおおみや未来創造ビジョン）に基づき、常陸大宮市に「住みたい」、常陸大宮市で「育てたい」、常陸大宮市に「来たい」をテーマとして、常陸大宮駅周辺整備事業や子育て教育環境の充実などが進められており、この取り組みが人口流出を防ぐダムとなることを期待し、議会としても役割と責任をしっかりと自覚し、ご期待に応えるよう全力を尽くしてまいります。

また、本市議会におきましては、昨年7月に、4年に一度の改選があり、新たな体制の下で始動いたしま

した。私も議長に就任して4か月が経過しますが、市民の皆様のご幸せのために、なお一層の努力をしてみたいと決意を新たにしております。

今、市議会では、市民に開かれた議会と活性化を図るため議会改革推進特別委員会を設置し、デジタル技術を活用した議会運営や危機管理体制の構築、そして、多くの人々の議会への参画など、これからの議会はどうかあるべきかを議論しております。また、市議会基本条例に基づき実施しています議会報告会でございますが、新型コロナウイルスの影響から残念ながら昨年開催することはできませんでした。二元代表制の一翼を担う議会として、市民の皆様のご多くの声や意見を聞く機会を設け、政策立案や提言に繋げていける議会を目指してまいります。

令和5年は「卯年」であります。卯（うさぎ）は、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。常陸大宮市も多くの課題を抱えていますが、今年は、飛躍や向上に繋がる年となるよう、市議会も一丸となって誠心誠意尽力してまいります。

結びにあたり、新しい年が皆様にとって、笑顔が溢れる実り多き年になりますよう心より祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。